



平成27年1月30日

各位

上場会社名 ゼビオ株式会社
 代表者 代表取締役社長 諸橋 友良
 (コード番号 8281)
 問合せ先責任者 常務執行役員 中村 和彦
 (TEL 03-6870-6008)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年8月1日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	220,072	10,048	10,452	5,481	121.65
今回修正予想(B)	209,934	5,093	5,600	1,681	37.31
増減額(B-A)	△10,137	△4,955	△4,852	△3,800	
増減率(%)	△4.6	△49.3	△46.4	△69.3	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	204,779	12,295	12,985	6,618	146.91

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	145,644	8,771	5,217	115.78
今回修正予想(B)	138,754	4,306	1,631	36.20
増減額(B-A)	△6,889	△4,464	△3,585	
増減率(%)	△4.7	△50.9	△68.7	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	142,154	11,893	6,158	137.19

修正の理由

平成27年3月期第3四半期連結累計期間におきまして、不安定な天候に伴う季節商品の販売不振や消費増税や円安を背景とした原材料、エネルギー価格の高騰に伴う実質所得の減少により個人消費の回復ペースに遅れが見られました。また、日本国内の人口問題への対策として、注力しております海外事業が、想定以上に投資先行の期間が長引いていることにより営業利益並びに経常利益を押し下げる影響、及び将来に向けた抜本的な体質改善の一環としてアクションを開始した、MD構成に適合しなくなった商品の適正化のための処分を進めると共に、新たに設定した基準に合致しない店舗の大胆な閉鎖や改装の方針を決定したことに伴い、特別損失を計上することになりました。

それらの特殊事情もあり、当第3四半期決算は利益が前年同期実績を下回る結果となるとともに、また、引き続き地方における個人消費の回復が想定以上に厳しい状況であること、第3四半期から開始した体質改善を、第4四半期においても継続して実施することを計画している為、当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえて、上記のとおり、連結及び個別の業績予想を修正することといたしました。

上記予想は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上